

「大日山 35 号墳の蓋形埴輪について」

和歌山県立紀伊風土記の丘 仲原知之・萩野谷正宏

◎ 2 種類の蓋形埴輪（特に立ち飾り部の施文方法の違い）

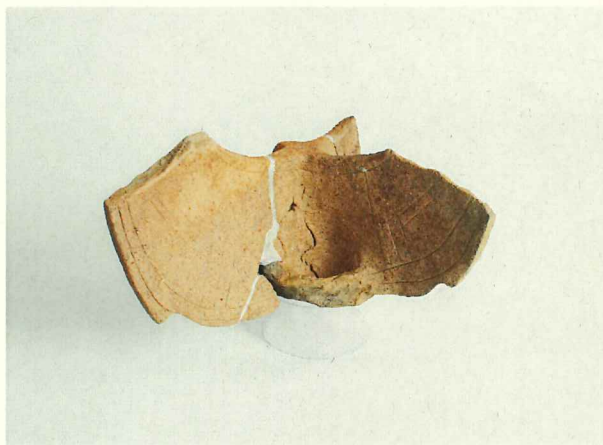
① 3 本同時に施文

- ・すべての施文は3本の平行沈線
- ・外側下縁部分の抉り込みなし
- ・表面にハケ目確認できない
- ・飾り板は少し横長



② 1 本ずつ施文

- ・輪郭は2本の平行沈線を巡らせる
- ・内部は3本の平行沈線で施文
(2本または4本もあり)
- ・外側下縁部分に抉り込みあり
- ・表面にハケ目調整を残す
- ・飾り板は少し縦長



<参考>紀伊風土記の丘『特別展図録 大王の埴輪・紀氏の埴輪』より転載



井辺八幡山古墳



井辺八幡山古墳



大谷山 22 号墳

(前方部側)

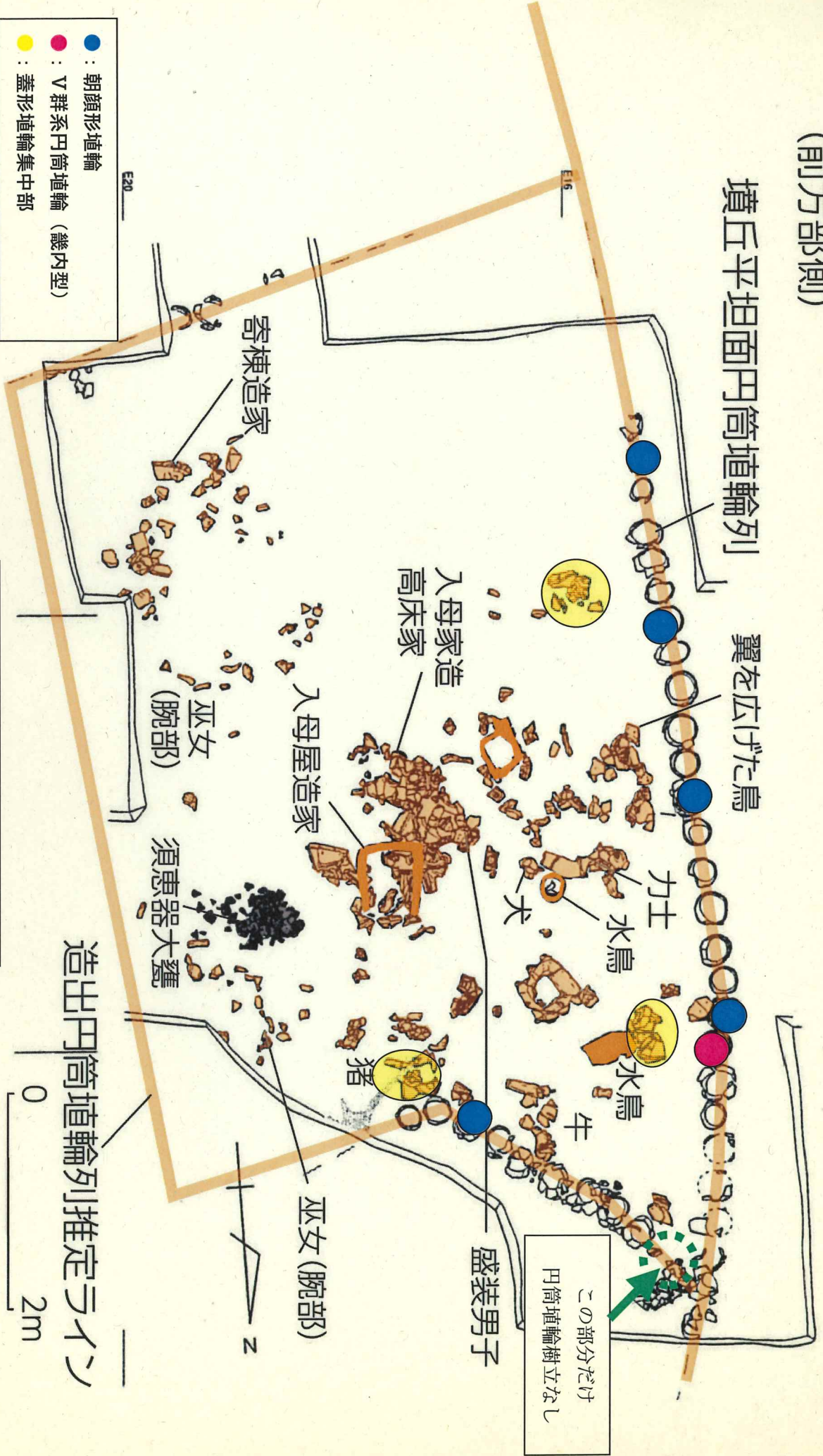
F16

S12

(後円部側)

墳丘平坦面円筒埴輪列

翼を広げた鳥



- : 朝顔形埴輪
- : V群系円筒埴輪 (畿内型)
- : 蓋形埴輪集中部

* それ以外の円筒埴輪はすべてIV群系 (紀伊型)
 * 基壇テラスの円筒埴輪は5本ともV群系

大日山 35号墳 東造出

造出円筒埴輪列推定ライン

0 2m

この部分だけ
円筒埴輪樹立なし